

月例情報市場報告

ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク

2018年3月14日(水)、月例情報市場を開催しました!

参加いただいた皆様、ありがとうございました。次回は4/18です。是非お出かけください!



今日の情報市場はイレギュラーだったせい(3月第三水曜日が祝日なので第二水曜日の今日開催)でしょうか、告知が足りなかったでしょうか、参加者が少し少なめでしたが、和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。いつも、内容をすべて載せているわけではありません。楽しさをご参加いただいた方々のみに味わっていただいております。皆様是非ご参加ください!

今回ご参加いただいた方々です。

・天空の里 いもい農場 西沢さん

・精神保健福祉ボラ ホワイトナッツ 本田さん

・NPO 法人みどりの市民 渡辺さん

・長野市ボランティアセンター 小宮山さん

司会は込山会長です

西沢さん ー 昨年の参加者の中にチラシを作っている会社に勤めている方がいらっしゃって、それでこのように素晴らしいチラシを作ってくださいました。ご覧いただければ18年度にどのような活動をするのかわかっていただけたと思います。もう18年度の申し込みも入ってまして、ますますのスタートがきれそうです。また、地域貢献しているということで住民自治協議会の後援を頂くことができました。

長野市のボランティアセンターで長野テレビに出演させていただき、住民自治協議会のみなさんにもテレビで活動の様子を伝えることが出来ました。

ささえあい応援金をいただいたり、耕運機を譲っていただいたりしましたが、これからもいろんなところとつながり、情報を共有しながら進めていけたらと思っています。

渡辺さん ささえあい応援金をいただいてから、エシカルショップのマップ作りということでやっています。11月11日は「このTシャツはどこからくるの?」という題で、2月4日は「美味しいチョコレートの真実」という題でそれぞれワークショップを行いました。11月11日は東京から児童労働を無くそうといった活動を行っているNGO法人「ACE」エースのスタッフを招いて行いました。参加者はスタッフ含めて18名、清泉短期大学の学生、教育学部の若手の先生、それに子供さんたちも参加してくれました。朝日新聞の取材があって、14日の長野版に載せていただきました。

ワークショップでは綿からTシャツになるプロセスを簡単なカルタ式にして、例えばインドの綿栽培農家の娘さん・中国の工場の人・日本人のバイヤー・Tシャツを買って着ている女の子などの役になってもらってロールプレーして自分の役割、周りの状況を確認して、その後過程の中で娘さんが農薬を浴びて死んでしまったという事件が起きて、それぞれの役割の人がその役の中で考えていくというものです。アンケートの中で、「生活の中でフェアトレードというのは深い関わりがあるけれどほとんど知らない、知らない世界で起きていることで関心がなかったが、これからはこれから考えて何が出来るのか考えたい」といったものがあつた。毎日の生活の中でいつもフェアトレードを考えてほしいということではなくて、考えるきっかけになってくれればという思いです。2月4日は「ACE」からワークショップのテキストを買って自分たちでやりました。みどりの市民ではここ10年ほど「エコサロン」という暮らしの中の環境をテーマにわいわいがやがやサロンをやっています、今

回それと一緒に参加者 16 名スタッフを入れて 23 名で行いました。今回は「チョコレート」、ワークショップもガーナから始まるロールプレーをやって、その後計画ではフェアトレードのチョコレートを使ったお菓子作りをする予定でしたが、担当者が風邪をひいてしまい、事前に作ったお菓子を食べながら意見交換をして終わりにしました。参加してくれた小学生や大学生はフェアトレードがどういうものか、どうして必要なのかということを経験として学んでくれたと思っています。

市民協働サポートセンターが企画してくれました、「チョコっと知ってみよう！世界とのつながり」3月24日10:30～もんぜんプラ座303会議室で行います。

マップ作りは結構大変で資料集め等遅れている状態です。

本田さん セミナーが毎年3月初めにあります。例年ですと松本ですが会場の関係で今年は、上山田の圓山荘で3月2日3日にやりました。障がい者施設、当事者さん、家族、支援者が参加して盛大に行われました。みなさんご存知でしょうか、「松本ハウス」さんという漫才コンビの方ですが、アトラクションで出られる予定でしたが、体調崩されたということで相方の「キック」さんが精神障がいの方との関わり合い方という講演を下さったのですが、それがとっても素晴らしくて感動しました。漫才コンビで10年休止の状態もあったが、ずっと相方のキックさんが支えてきた実話。そんなお話を聞ける機会があって本当に良かったです。

小宮山さん 相変わらずですが、単身者用電化製品をボランティアセンターで募集しています。幼児のお昼寝用掛け式布団も募集しています。

信濃毎日、市民新聞にも載ったのですが、車いすを使用しているお子さんのいる親御さん向けのガイドブックが出ました。ボランティアセンターのチラシコーナーに置いてありますのでお持ちいただければと思います。

本日が今年度(2017年度)最後の月例情報市場となりました。今までお世話になってきました、ボランティアセンターの小宮山さんが3月末で退職されると本日お聞きしました。小宮山さん、ほんとうにお世話になりありがとうございました。

以上



天空の里 いもい農場

2018年度
食農体験!! 参加家族募集!

ボランティア
スタッフ
同時募集



畑を耕し、苗を植える。
そして収穫をみんなで喜び、味わおう!
みんなでできる農業はやっぱり楽しい!!

場所 長野市 芋井広瀬地区 長野市広瀬2261 (長野県庁より車で約20分)

参加費 年会費：大人 (中学生以上) 2,500円 子ども 1,500円

飛び入り参加費：一人当たり 500円 (大人、子ども共通)

全14回

(詳細は裏面)

天空の里 いもい農場 とは?

ここは天空かと思えるほど、美しく見晴らしの良いロケーションにある「芋井広瀬地区」。市中心部からほど近いこの場所を拠点として、子どもたちとその家族に「食農体験の場」を提供しているボランティア団体です。

子どもたちが、幼い頃からたくさん土に触れ、作物作りの楽しさと大変さを学び、虫や草花とともにあることの大切さを知ることによって心豊かに育ってほしい—そんな願いで活動に取り組んでいます。前身は2003年、生活協同組合コブながの主催の「いもい野遊び塾」として始まり、2014年からは有志が芋井地区住民自治協議会の協力を得て運営し、今年で16目を迎えます。

こんな家族に
オススメ!

農業をやってみたくて
家族だけでは
ちょっと...

子どもに
農業体験を
させたい!

おいしい
野菜を
食べたい!

やっぱり
生き物が好き!

主催 天空の里 いもい農場

後援 芋井地区住民自治協議会

*。天空の里 いもい農場が目指すこと

1. 農作業や野遊びを体験することで、自然を身近に感じ、子どもたちの「環境・農業・食べ物を大切に思う気持ち」を育むこと。
2. 中山間地域と都市部の人々との交流を図ること。
3. 中山間地域の森や農地の保全、食文化の継承・発展に繋がること。

天空の里 いもい農場は、作物の収穫や本格的に農業を勉強することを目的とした活動ではありません。私たちはこの活動を通して、自然豊かな中山間地域「芋井地区」に、食農体験と交流できる場を作ることで、ここに人々が集い、旬の野菜を育て収穫し、笑いあう「子どもたちの声」を響かせたいと考えています。そしてみんなが「いもいファン」になってくれたら…そんな願いを抱いています。

代表 山岸 茂晴



2018年度 活動日

- | | | | |
|----------|---|-----------|---|
| 活動日
1 | 4/21 「山はおいしい、食べ物の宝庫！」
食べられる野草を探して食べてみよう！ | 活動日
8 | 8/11 「ジャガイモ収穫したい(隊)！」
超！新ジャガを使った絶品カレーつき。 |
| 活動日
2 | 5/5 「いもい探検隊！」
ミニオリエンテーリングをしながら、天空の里“芋井”を知る。 | 活動日
9 | 8/25 「夏野菜が主役のバーベキュー！
&子どもの縁日！」
スタッフ特製シロップ遊び放題！豪華な特製カキ氷、味わえます。 |
| 活動日
3 | 5/19 「田んぼはドーロ泥!？」
泥んこになって、みんなで楽しく田植えしよう！ | 活動日
10 | 9/8 「稲刈りをしよう！」
稲刈りの後に、信州のソルフード“おやき”を作ってお腹を満たそう。 |
| 活動日
4 | 6/9 「あなたも私も、新聞記者!？」
農作業しながら取材をして壁新聞を作ろう。 | 活動日
11 | 9/29 「超新米を味わおう！」
脱穀後、すぐ精米、すぐ炊飯、すぐ食べよう！※天候都合で変更有 |
| 活動日
5 | 6/23 「朝飯前の農業体験をしよう！
&田んぼの生き物調査」
早朝の農業体験&生き物調査をして、虫博士にたくさん質問しよう。 | 活動日
12 | 10/20 「収穫の秋!味覚の秋！」
サツマイモにリンゴ収穫。郷土料理「おしぼりうどん」をみんなで食べよう。 |
| 活動日
6 | 7/7 「草との戦い、中間作業を楽しもう！」
農作業で大切な中間作業を、みんなで一致団結して取り組みます。 | 活動日
13 | 11/10 「白菜・大根・長ネギ etc…収穫隊！」
最高の景色を見ながら、焼き芋を味わおう。 |
| 活動日
7 | 7/21 「手打ちうどん修行 ザ!手打ちうどん」
こねて、踏んで、おいしいうどんを作ろう。 | 活動日
14 | 11/24 「大収穫祭!
~1年間お疲れさまでした!~」
究極の地産地消料理をたくさん作って味わおう! |

参加者の声

- ・ 野菜の成長過程を子どもと一緒に知ることができた。
- ・ 山間の集落で、空気が澄んで、長野市が一望できる、自然豊かな場所。まさに“天空の里”です。
- ・ 作物を作ることの厳しさ、難しさ
- ・ 「天空の里」、地域住民の方が優しい。
- ・ 中山間地域の状況を知ることができました。
- ・ 自然がたっぷり楽しく遊べること。
- ・ 非日常の自然の景色に癒される。
- ・ 自然とふれあい、農作業をみんなで行うことの楽しさ!
- ・ たくさん美味しいものを、楽しいスタッフの方、参加者の方と収穫し作って食べられたので、大満足。ありがとうございました。
- ・ 幅広い世代の参加者がいて、世代間交流ができる!



お問い合わせ先 天空の里 いもい農場 運営事務局 | imoi.hirose@gmail.com | 090-9358-3286

活動通信(ブログ) <http://blog.canpan.info/imoi/>



フェイスブック <https://www.facebook.com/imoi.hirose>



エシカル消費 ワークショップ「このTシャツはどこからくるの？」フォトレポート



講師 田柳優子氏



ワーク1 ロールプレイ 想像してみよう！



講義 インドにおける児童労働の実態



ワーク2 私たちができること

日時 29年11月11日 10:30~12:40
場所 もんぜんぶら座3階304



ワーク2 私たちができること グループで考えたことの発表



ワークショップ「美味しいチョコレートの真実」 フォトレポート

フォトレポート 平成30年2月4日(日)10時~13時ふれあい福祉センター



気軽に情報交換・つながりを生み出す交流会

チョコっと
知ってみよう！
世界とのつながり

みんなであそぶワークショップ

NPOカフェ

まんまる



私たちが食べているチョコレートはどこから来るの？
クイズを交えながら、チョコレートの原料を作る国と
チョコレートを食べる国のちがいを体感するグループ
ワークを通して、私たちにできることをみんなで考え
ます。グループワークの後はチョコレートの試食も！

3月24日(土)
10:30~12:30
もんぜんぷら座
303会議室
長野市新田町 1485-1
定員：30名

対象：小・中学生及びその家族
参加費：100円(チョコレート試食代)
【企画団体】NPO法人みどりの市民

※NPO法人みどりの市民とは…
子どもたちのために豊かな自然と心豊かな地域と地球環境を
残すための生活の提案・環境保全活動を行っています。

問い合わせ
お申し込み

市民協働サポートセンター
(愛称：まんまる)

長野市新田町 1485-1 もんぜんぷら座 3階
TEL: 026-223-0051 FAX: 026-223-0052
E-mail: npo@nagano-shimin.net
時間：10時～19時(第1・3水曜日 定休日)